

小泉首相が再選



自民党の総裁に再選され拍手に応える小泉純一郎

首相 = 20日午後3時、東京・永田町の自民党本部

小泉純一郎	399票
亀井 静香	139票
藤井 孝男	65票
高村 正彦	54票

自民党
総裁選

1 回目 で 過 半 数

自民党総裁選は二十日午後、国会議員の投票と党員・党友票の開票が行われ、現職の小泉純一郎首相が再選された。任期は三年。

国会議員の三百五十七票と、各都道府県に配分された地方票三百票の計六百五十七票の開票で、小泉首相が過半数を大きく上回る三百九十九票を獲得した。亀井静香前政調会長百三十九票、藤井孝男元運輸相六十五票、高村正彦元外相五十四票だった。

首相は二十一日に党三役人事を決め、二十二日に内閣改造を断行したい

首相再選は、十月の衆院解散・十一月総選挙の政治日程が確実となったことで、議員や党員らが国民の人気の高い小泉首相を「選挙の顔」として選択した結果だ。ただ与党内に首相の構造改革路線への不満が根強く、財政出動を伴う景気対策の要求が高まりそうだ。

今回の総裁選は、党内最大派閥の橋本派が分裂投票になり、野中広務元幹事長が青木氏らの行動に反発し今期限りの政界引退を表明。堀内派も候補擁立を模索しながら、最終的に自主投票にするなど「派閥崩壊」現象の中で実施された。